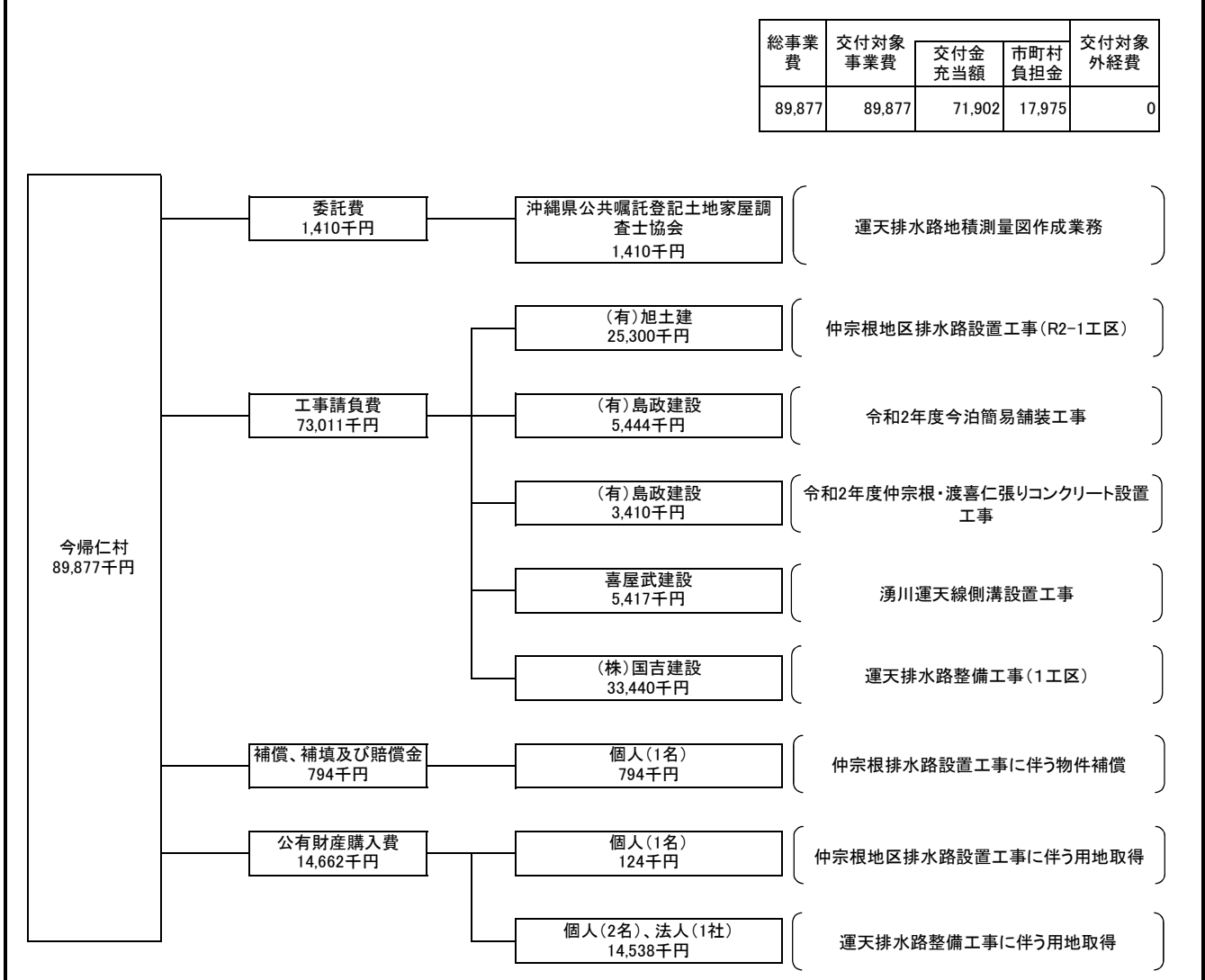


市町村名		今帰仁村					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥		景観形成強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-(2)-ウ	
	担当部署名	建設課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾートの形成
事業内容		昔ながらの今帰仁村の景観が残る集落内の道路整備を行うことにより、観光客の集落内への受入れ態勢を強化する。また、村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、車両の安全及び歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受け入れ態勢を整える。					
効果発現年度		<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4 年度)					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R2年度		R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度
		(a)当初予算額	98,500	-			
		(b)予算現額	98,500	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			0
		(d)繰越額			64,781		
		A.計(b+d)	98,500	64,781			0
		B.執行済額	33,719	56,158			
		うち交付金充当額	26,975	44,927			
		次年度繰越額	64,781				
		執行率(%) (B/A)	34.2%	86.7%			
予算の状況の説明		運天排水路整備工事において入札残が生じたことと、仲宗根地区排水路整備で地権者との交渉がまとまらず用地が購入できず、8,622千円の不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	・工事の実施(仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置、仲宗根・渡喜仁張りコンクリート設置、湧川運天線側溝敷設、簡易舗装) ・用地測量の完了(運天排水路設置工事) ・用地鑑定完了(運天排水路設置工事) ・用地取得完了(仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置)	張りコンクリート設置工事・排水路工事・簡易舗装工事・側溝設置工事	()	()	()	()
実績	張りコンクリート設置工事・排水路工事・簡易舗装工事・側溝設置工事						
達成状況説明		張りコンクリート設置工事を計画通りに実施し目標を達成した。 排水路工事については、渡海原線排水路設置工事を取りやめその他は計画通りに実施し目標を達成した。 簡易舗装工事を計画通りに実施し目標を達成した。 側溝設置工事を計画通りに実施し目標を達成した。 用地取得は渡海原線排水路工事、仲宗根地区排水路工事の一部について地権者との合意が得られず取得できなかった。 その他は計画通りに実施し目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		基準値(R1年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	目標	・工事の実施(仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置、仲宗根・渡喜仁張りコンクリート設置、湧川運天線側溝敷設、簡易舗装) ・用地測量の完了(運天排水路設置工事) ・用地鑑定完了(運天排水路設置工事) ・用地取得完了(仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置)	(設計完了)	(工事の実施)	(工事の実施)	()	()
	実績	張りコンクリート設置工事・排水路工事・簡易舗装工事・側溝設置工事の実施					
	目標	【参考指標】 魅力的な景観が形成されたか(80%)を含め観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する	()	()	()	()	(80%)
	実績						
進捗状況説明		張りコンクリート設置工事を計画通りに実施し目標を達成した。 排水路工事については、渡海原線排水路設置工事を取りやめその他は計画通りに実施し目標を達成した。 簡易舗装工事を計画通りに実施し目標を達成した。 側溝設置工事を計画通りに実施し目標を達成した。 用地取得は渡海原線排水路工事、仲宗根地区排水路工事の一部について地権者との合意が得られず取得できなかった。 その他は計画通りに実施し目標を達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	古宇利渡海線排水路設置について以前より事業説明及び用地交渉を進めていたが、用地単価の不満から同意を得られない状況にあり、工事の発注ができなことから古宇利渡海線排水路設置を断念した。また、仲宗根地区排水路工事においても用地単価の不満から同意が得られず取得ができなかった。今後計画している仲宗根地区排水路工事においても用地取得が必要となる箇所があるため、円滑な事業執行のため地権者との交渉が課題となる。	事業の目的や必要性について、地権者の理解と協力が得られるよう十分に説明し、計画通りに施工できるよう適切に進捗を管理する必要がある。
	今後の取り組み方針	
円滑な事業執行に向けて、事業に対する理解と協力が得られるように地権者へ丁寧な説明を行い事業を適切に実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
用途の流 点検 費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の契約規則に基づき、工事請負業者は指名競争により入札を行い、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は設計額に基づき発注しており適正な規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なもの等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	